

～どどんつながる応援の輪～
消防団員応援プロジェクト

8/21 (木)



えひめ愛顔で消防団員応援プロジェクトの市内登録第1号店となる、土居町小林の焼肉・一品料理「なごみ」への応援事業所表示証交付式が行われました。このプロジェクトは、地域のために日夜活動する消防団員を応援しようと県内全域で実施されており、現在市内では9つの事業所が登録されています。

～市内各地で敬老会～
市内最高齢者にお祝い状を贈呈



敬老の日にちなんで市内各地で敬老会が開催されました。また、市内の最高齢女性である下柏町の河端サハエさん（109歳）、最高齢男性である上分町の北川吉繁さん（104歳）に、篠原市長と山本市議会議長からお祝い状や記念品が贈られ、長寿をお祝いしました。

～和紙に描写～
海の絵画コンクールで金賞

8/22 (金)



三島西中学校3年生の蝶野七美さんが、第51回全国中学生海の絵画コンクールで金賞（国土交通大臣賞）を受賞したことを報告するため、市長を表敬訪問しました。蝶野さんは「和紙を使用したため、水の量の調整や力強さの表現が難しかったが、全国で金賞を受賞することができて本当にうれしい」と話していました。

えがお
愛顔つなぐえひめ国体の開催が
正式決定

8/19 (火)



福祉会館で第72回国民体育大会四国中央市準備委員会第2回総会が行われました。総会では、第72回大会の愛媛県開催が7月23日に正式決定したことに伴う同準備委員会会則の一部改正（案）などが承認され、同準備委員会の名称が愛顔つなぐえひめ国体四国中央市実行委員会に変更となりました。

～「食」への感謝の気持ちを学ぶ～
四国中央市学校給食米収穫祭

8/23 (土)



土居町蕪崎のJAうまアグリセンターで第10回四国中央市学校給食米収穫祭が行われました。天候不順のため、予定されていた稲刈り体験などは中止になりましたが、参加した市内小学校の児童や保護者など約380人は、足踏み脱穀機や唐箕などの昔体験やおにぎりパーティーなどを行いました。

「風船爆弾を作った日々～しゃぼん玉、宇宙までとぼそ！～」制作発表

8/21 (木)



中之庄公民館で、第二次世界大戦時のアメリカで多くの犠牲者を出した風船爆弾を題材に作られたミュージカル「風船爆弾を作った日々～しゃぼん玉、宇宙までとぼそ！～」の制作発表が行われました。ミュージカルは11月15日（土）、16日（日）に土居文化会館（ユースホール）で上演されます。

～光り輝く月の下で～
暁雨館で観月会

9/8・9



土居町の暁雨館で観月会が開催されました。毎年中秋の名月に合わせて開催されており、今回で11回目となります。残念ながら満月とはなりませんでしたが、近年稀にみるスーパームーンということもあり、会場には多くの来場客が訪れ、月明かりの下で奏でられる箏や笛の調べに耳を傾けていました。

～第94回四国中央ふれあい大学講座～
池上 彰&増田ユリヤトークショー

9/6 (土)



市民会館川之江会館で、「池上 彰&増田ユリヤトークショー」が開催されました。「突破する教育」をテーマに、特に学力世界上位のフィンランドの教育と日本の教育の現状について紹介し、訪れた約350人の観客は真剣な表情で2人のトークに耳を傾け、多くの質問が寄せられていました。

～共生社会のあり方を考える～
障害者差別解消法と地域での暮らし

8/30 (土)



中之庄公民館で、障がい者に対する理解・啓発セミナーが行われ、約100人の市民が参加しました。これは、障がい者に平等の機会を保障し、差別を禁止・解消することを目的とする障害者差別解消法が平成28年4月に施行されることに伴い行われたもので、弁護士ひらの東 俊裕さんが講演しました。

～あまごのつかみ取りに奮闘～
てらの湖畔広場感謝祭

8/24 (日)



富郷町津根山のてらの湖畔広場で夏の感謝祭が開催されました。会場では、いのししバーベキューや田舎料理の販売、産直市などが行われ、多くの買い物客で賑わいました。また、あまごのつかみ取りが行われ、直径3mほどのプールで、子どもたちが水しぶきを上げながら奮闘していました。

～四国大会で優勝～
金生ミニバスケットボールクラブ

9/11 (木)



金生ミニバスケットボールクラブ（西川友義代表）のメンバー15人（金生第一小6年生～2年生）が、第36回四国ミニバスケットボール大会で優勝したことを報告するため、市長を表敬訪問しました。市長は「次は全国大会出場を目指して、日々の練習を頑張ってください」と激励しました。

～全日本選手権大会で入賞～
スポーツチャンバラ協会仁武館

9/8 (月)



市スポーツチャンバラ協会仁武館なほひとの河村直仁代表、井川啓貴はるきさん、石川大雅たいがくん（三島東中1年）が、第40回全日本スポーツチャンバラ選手権大会で入賞したことを報告するため、市長を表敬訪問しました。3人と寺尾力ちから也くん（三島高校3年）は、8月に行われた大会の各部門で3位に入賞しました。

～夏休み、最後の戦に挑め！～
戦国水鉄砲！「関川の戦い」

8/31 (日)



関川河川敷ふるさと広場で、「戦国水鉄砲！『関川の戦い』」が行われました。今年で5回目となるこのイベントは、毎年夏休みの終わり頃に行われており、今年は市内の小学生17チーム96人が参加しました。子どもたちは、さまざまな駆け引きをしながら敵チームを狙い撃ちしていました。

～西日本野球選手権大会で準優勝～
伊予三島リトルシニア

8/26 (火)



伊予三島リトルシニア（安藤 賢さとし監督）の選手が、第4回日本リトルシニア西日本野球選手権大会で準優勝したことを報告するため、市長を表敬訪問しました。主将の河村虎輝とらくん（三島南中3年）は、「全員が勝ちたいという気持ちを持って戦ったことが、いい結果につながったと思います」と大会の感想を話しました。

市長のひとりでど

人間は、つらいことも、楽しいことも、記憶の中に留めておく。しかし、機械のように、整理整頓が頭の中でできているわけではない。その濃淡はあるが、並列にあると言った方がよい。何十年前の悲しみが、昨日のことより鮮明にあることもある。

旦那さんを亡くされた奥さんが、ある日わたしに、「しんどかったことの方が圧倒的に多かったはずなんです。愉しかったことや優しかったことばかり思い出されるんですよ」と涙ぐんでいた。その人は子どもがいなかったこともあり、元気だった頃の問合あひだいがよかったのだらうと思っ。

この夏は、大雨があり、蒸し暑い日もあったが、概して、昨年よりうだるような暑さではなかったように思う。市政においては、頭がかきむしられるような出来事もあった。

困難なことがあるたびに、高校野球ではないが、俺が元気を出して引っ張らなければ、誰かやるのだと、線香花火に火を付けて、バチバチと心を激励するのである。日々の出来事も、いつか、懐かしい思い出となってくる。背中から万力で押さえつけられているような心の重圧を抱えている人も、まず、次のご飯をしっかり食べることから始めたい。自分はそう思って、生きていく。

人生を漕ぐことは、大波小波をくぐり抜けなければならぬ。時々、漕ぐ手を休めながら、手のひらでもよい、波をかいて行くのだ。そうすれば、少しでも、自分丸は前進する。命はじっとしていても、自分の意思とは関係なく、留まってくれないのだからね。

一寸の虫にも五分の魂を持って、生きていくことを大切に、本年度の後半戦も頑張ろうと思っ

市長のひとりでど



四国中央市長
篠原 実
テーマ
記憶

～三百年余りの伝統を受け継ぐ～
鐘おどり

8/31 (日)



新宮町上山の大西神社で鐘おどりの奉納が行われました。鐘おどりは、元禄年間に始められたと言われており、県の無形民俗文化財に指定されています。鐘と太鼓に合わせて子どもたちが勇壮なおどりを披露し、訪れた多くの観客は三百年余り受け継がれる地域の伝統行事を堪能していました。

市内の小中学生選手が全国少年
フェンシング大会で入賞

8/27 (水)



三島フェンシングクラブ所属の村上万里亜万里亜さん（三島西中3年）と高石菜摘なづなさん（土居中2年）が市長を表敬訪問し、全国少年フェンシング大会で入賞したことを報告しました。2人は7月に東京で行われた大会に出場し、各部門で、村上さんは7位、高石さんは準優勝という成績を取りました。